

こどもたちの 笑い声は、 社会問題か？



公共政策って、何ですか？

稲田先生、教えてください。

そもそも、社会問題とは何でしょうか？

それは、同じ社会で暮らす人々が解決しなくてはならないと認識している問題。その解決をめざす対策が公共政策です。たとえば、日本社会の少子化。

その要因には、働き方と子育て環境などが考えられます。フルタイムで働きながら子育てするには保育園が必要です。にもかかわらず待機児童は増えるばかり。

その解決のために保育園を増やす、ひいては少子化対策につなげる。これが公共政策です。

公共政策の難しさは対策を講じればすむわけではないところ。保育園をつくろうとしても、こどもの声は騒音だと住民が訴える事例も出てきました。

行政は、問題解決の優先順位を考え、住民と調整しながら、より効果の高い対策を実行する努力を続けるしかありません。ところで、保育園の騒音問題についていえば、ほんとうの問題は、こどもの笑い声を不快に感じるような、

社会の息苦しさにあるかもしれません。さて、どんな解決策があると、あなたは考えますか。



経済学科
准教授 稲田圭祐



オープンキャンパス開催 模擬授業開催 3/21(土) 大学案内配付開始 4/25(土)

学生と教員が大学を紹介する、アットホームなオープンキャンパスです。

- 現代人間学部
- 表現学部
- 経済経営学部

小田急線鶴川駅から
徒歩約15分
<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる
和光大学